

麦マルチを活用したカボチャ栽培技術

福島県農業試験場 野菜部

平成12～14年度福島県農業試験場試験成績概要

分類コード 03-03-18000000

部門名 野菜-その他ウリ類-作型・栽培型

担当者 雨宮潤子・服部 実

I 新技術の解説

1 要旨

カボチャ栽培では、畝間の雑草防除を目的として敷き藁や除草剤の散布が行われている。麦マルチ栽培法は、畝間への敷き藁または除草剤散布の代わりに、大麦を栽培し、その座止現象を利用する技術である。

- (1) 大麦の生育量を確保して抑草効果を高めるには、4月中旬から5月中旬までの播種期、1.0～1.5kg/aの播種量が適した。
- (2) カボチャへの施肥法は、全量基肥（溝施肥）よりも基肥＋追肥が適している。
- (3) 麦マルチ栽培法では、敷き藁に比べて雑草防除のための作業時間が40%削減された。

2 期待される効果

近年、中山間地域では遊休農地（耕作放棄地）が年々増加しているが、これら農地の利用促進に活用できる。また、カボチャ栽培の省力化、規模拡大に活用できる。

3 適用範囲

県内全域

4 普及上の留意点

- (1) 麦マルチ栽培では、麦に追肥が吸収される可能性があるため、追肥時期は麦の座止直後とする。
- (2) 本試験では、大麦品種ハマユタカを用いたが、入手困難な場合は、ファイバースノウを用いる。

II 具体的データ等

表1. カボチャの収量及び麦の生育・雑草発生量

処理区名	カボチャの収量				麦の生育・雑草発生量	
	1果重 (g)	果径 (cm)	果高 (cm)	規格内収量 (kg/10a)	乾物重 (g/m ²)	雑草発生本数 (本/m ²)
全量基肥※ ¹ 麦マルチ(0.5kg/a)※ ²	1341	16	12	588	132	78
〃 麦マルチ(1.0kg/a)	1352	16	12	676	256	45
〃 麦マルチ(1.5kg/a)	1213	15	12	592	404	3
基肥+追肥※ ³ 麦マルチ(0.5kg/a)	1348	16	12	782	317	108
〃 麦マルチ(1.0kg/a)	1291	16	12	826	311	38
〃 麦マルチ(1.5kg/a)	1298	16	12	791	369	20
〃 裸地+除草剤	1485	17	13	951	—	123
〃 敷わら	1636	17	13	1047	2351※ ⁴	87

品種：カボチャ 九重栗（5/22定植）、大麦 ハマユタカ（4/30播種）

※1…緩効性肥料を用いた溝施肥（N：P₂O₅：K₂O 1.5:1.5:1.5kg/a）、4月30日施用。

※2…大麦の播種量

※3…基肥（N：P₂O₅：K₂O 0.7:1.3:0.7kg/a）、溝施肥、4月30日施用。

追肥（N：P₂O₅：K₂O 0.8:0.2:0.8kg/a）、畦間に7月8日施用。

※4…敷わらの重量

表2. カボチャ栽培における麦マルチ・除草剤・敷わらの作業時間

畦間資材	作業 人員 (人)	圃場 作業量 (a/Hr)	作業 時間 (分：秒/a)	対敷わら比 (%)
麦マルチ	1	4.5	13:18	62
除草剤	1	14.2	4:12	20
敷わら	2	2.8	21:24	100

注）除草剤は粒剤を使用。



写真1：カボチャ定植後の圃場
（6/3撮影、畝間は生育中の大麦）



写真2：座止した麦とカボチャ

Ⅲ その他

1 執筆者

雨宮潤子・高橋 徹

2 主な参考文献・資料

なし